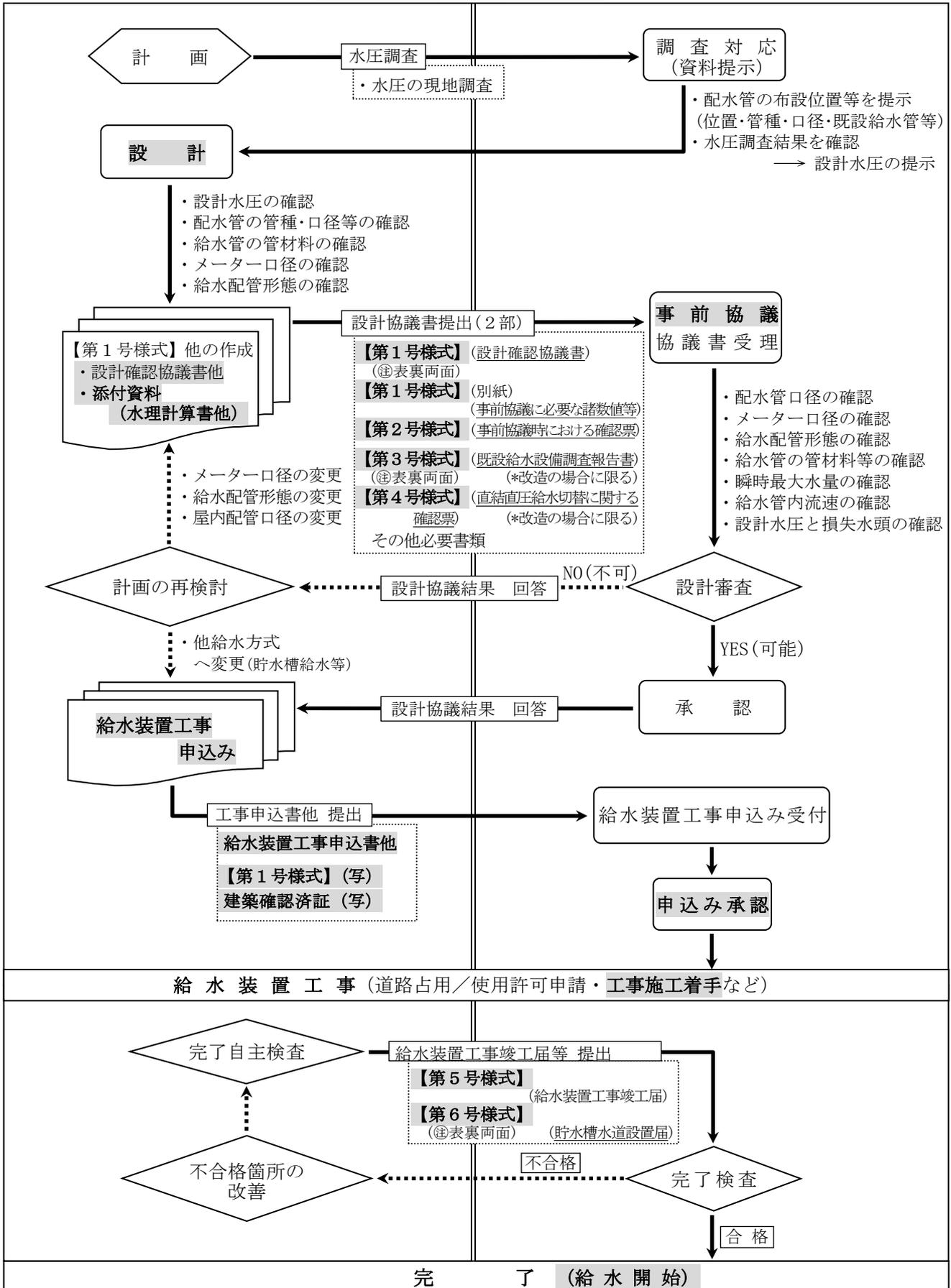


# 様式集

(第2編)



# 給水装置工事 申請フロー図



※) 水道事業給水条例第5条及び給水装置工事施行基準第3条により、給水申込者より提出された事前協議の結果を基とした給水装置工事申込書他を承認した給水装置工事に対してのみ、給水を開始する。ただし、2階建てまでの一戸建て専用住宅に係る事前協議は、省略することができる。



## 設 計 確 認 協 議 書

令和 年 月 日

蟹江町水道事業  
蟹 江 町 長 殿

申込者 住 所  
氏 名\*

指定工事事業者

住 所  
名 称 及 び  
代 表 者 氏 名  
電 話  
主 任 技 術 者 氏 名\*

※)本人の署名または記名押印をしてください。

給水装置工事に係る給水装置工事施行基準に基づき、給水装置の設計をいたしましたので  
確認願いたく協議します。また、裏面の確認事項を承諾し遵守します。

工 事 場 所	蟹江町					
建物(施設)名称						
予 定 工 期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					
計画建物用途他	<input type="checkbox"/> 一戸建て小規模店舗または事務所付き住宅 <input type="checkbox"/> 集合住宅（ 戸） <input type="checkbox"/> 店舗・事務所ビルまたは倉庫等 <input type="checkbox"/> 集合住宅・小規模店舗・事務所ビル等の複合ビル <input type="checkbox"/> その他					
給 水 方 式	<input type="checkbox"/> 直結直圧給水（ 階 ~ 階）（ <input type="checkbox"/> 新設・ <input type="checkbox"/> 改造）					
	<input type="checkbox"/> 貯水槽給水（ 階 ~ 階）（ <input type="checkbox"/> 新設・ <input type="checkbox"/> 改造）					
	<input type="checkbox"/> 給水方式併用（直結直圧&貯水槽）（ <input type="checkbox"/> 新設・ <input type="checkbox"/> 改造）					
配 水 管 の 管 種・口 径 等	φ	給水 引込口径	φ	メーターの 口径・個数	φ	個
瞬間最大給水量 の計算	<input type="checkbox"/> 集 合 住 宅：ファミリータイプ（ 戸）      リームタイプ（ 戸） [BL算式]      瞬間最大使用水量 = _____ L/mim <input type="checkbox"/> その他施設：給水引込部のFU合計 = ( ) [器具給水負荷単位(FU)]      瞬間最大使用水量 = _____ L/mim					
給水量の計算	計画1日使用水量	m <sup>3</sup> /日		計画月間 使用水量	m <sup>3</sup> /月	
給水弁の種類	<input type="checkbox"/> BT：ボールタップ <input type="checkbox"/> FM：定水位弁		給水弁 の口径	φ × ケ	受水槽容量	m <sup>3</sup>

1. 第1号様式（別紙）、第2号様式、案内図、配水管管理図、配置図、系統図、平面図、各部詳細図、器具表、機器表、水理計算書及びその他必要とするものを添付し、1部提出してください。なお、図面等に関してはPDFを添付してください。
  2. 改造の場合は、第3号及び第4号様式の既設給水設備調査報告書等の必要図書類を1部追加提出してください。
  3. 事前協議の内容に変更が生じた場合は、再協議してください。
- ※) 署名による記入のみ押印は不要です。ゴム印や印字等の記名の際は押印が必要となります。

## 確 認 事 項

### ・ 利用者等への周知等

- ① 配水管等の工事や事故・災害時等の給水制限により水圧が低下し出水不良となった場合、あるいは、停電や故障によりポンプ装置等が停止した場合は、1階の直圧共用水栓を使用します。
- ② 配水管等の工事等に伴う断水・濁水に対応するため、貯水槽給水装置等の操作及びメンテナンスを必要とするときは、申込者の責任において対処します。
- ③ タンクレスの水道直結式洋風大便器を使用する場合、水圧低下及び水量不足の状況に成りうることを理解し、発生した場合は、申込者の責任において水栓の同時使用状況を見直します。
- ④ ポンプ装置の故障等の緊急時に備え、連絡先等を明示します。
- ⑤ 計量法に基づくメーターの交換及びメーターの異常による交換の際は、蟹江町長に協力し断水することを承諾します。

### ・ 出水不良の対応

- ① 給水装置工事の設計に当たっては、給水装置工事施行基準等に基づき主任技術者の責任において出水不良等が発生しないよう水理計算書等にて確認します。なお、出水不良等が発生した場合は、申込者の費用負担にて設備等の見直しを行うなど速やかに対応します。
- ② 配水管等における将来の水圧変動や使用量増加により出水不良が発生した場合は、申込者の費用負担で設備等の見直しを行うなど速やかに対応します。
- ③ 建物の改造や給水装置の更新等による使用水量の増加により出水不良が発生した場合は、申込者の費用負担で設備等の見直しを行うなど速やかに対応します。

### ・ 漏水等の対応

配水管の水圧等に起因して漏水や逆流等が発生し、蟹江町長若しくは利用者等に損害を与えた場合は、当方の責任にて補償します。

### ・ 貯水槽維持管理の対応

水道法、同施行規則及び管理者の定める条例等により、1年以内に1回、貯水槽を清掃します。また、受水槽以降二次側の導水装置においては、当方の責任にて水質管理を含めた維持管理を、適正に実施いたします。

### ・ 紛争の解決

上述の確認事項の内容を水道利用者等に周知徹底させ、給水装置（3階までの直圧給水及び貯水槽給水）に起因する紛争等については、所有者並びに利用者間ですべて解決します。

事前協議に必要な諸数値等

給水方式	直結直圧給水 ・ 貯水槽給水		新規 ・ 改造
建物主用途	集合住宅 ・ 事務所 ・ 店舗 ・ 福祉施設 ・ その他（ ）		
建物階数等	階建て(地上 階、地下 階)		延べ面積 m <sup>2</sup>
住戸数	一般住宅 戸 ・ 単身住宅 戸		
住戸内配管	先分岐配管方式（従来工法） ・ ヘッダー方式		
配管改造	有 ・ 無	配管形態	I型 ・ 逆U型
設計水圧	MPa	水圧確認通知日	令和 年 月 日
配管材料	屋外（分水栓～メーター） PP ・ HPPE ・ DIP ・ その他（ ）		
	屋外（同上メーター～建物内の計算対象立管への分岐部までの給水横主管） VLP ・ HIVP ・ PP ・ PEP ・ その他（ ）		
	屋内（同上給水横主管分岐部～給水立管の最下部） VLP ・ HIVP ・ PEP ・ SUS ・ その他（ ）		
	屋内（同上給水立管の最下部～計算対象住戸分岐部までの給水立管） VLP ・ HIVP ・ PEP ・ SUS ・ その他（ ）		
	対象住戸内（同上給水立管の計算対象住戸分岐部～住戸内の計算対象給水栓） VLP ・ HIVP ・ PE ・ PB ・ その他（ ）		
高低差	配水管布設道路の路面～敷地地盤〔設計GL〕との高低差 _____ m (h <sub>1</sub> )		
	敷地地盤〔設計GL〕～1階床面〔1FL〕との高低差 _____ m (h <sub>2</sub> )		
	配水管布設道路の路面～受水槽流出用給水弁〔FM〕との高低差 _____ m (h <sub>3</sub> )		
	配水管布設道路の路面～計算対象給水栓との高低差 _____ m (h <sub>4</sub> )		
受水槽容量	m <sup>3</sup>	給水弁種類・口径	BT: φ × ㌢ FM: φ × ㌢
特殊器具	循環式給湯システム ・ I型浄水器 フラッシュバルブ（バキュームブレーカー 有 ・ 無）		
備考			

給水装置工事の『事前協議時における確認票』

給水装置工事施行場所			
申請施設名			
申込者名			
指定給水装置工事事業者※			
確認項目		結果	備考
事前調査	道路の状況（公道・私道・幅員等）を確認したか。	はい・いいえ	
	配水管の布設状況（管種・口径等）を確認したか。	はい・いいえ	
	建物の平面図、詳細図及び給水台帳・水道マッピングシステム等に基づいて給水の取出位置を決定したか。	はい・いいえ	
	既設給水装置の有無（有る場合は、口径を調査）を確認したか。	はい・いいえ	既設口径φ
	隣地境界と官民境界を確認したか。	はい・いいえ	
	各種埋設物の有無（下水道・ガス・電気・電話等の口径、布設位置）を確認したか。	はい・いいえ	
	工事に関する同意・承諾の有無（分岐承諾・その他利害関係者の承諾）を確認し、必要時には同意・承諾を得たか。	はい・いいえ	有・無 ( )
	使用目的とこれに必要な水量及び水圧等を調査して、適切な給水方式を選定したか。	はい・いいえ	MPa
	改造等の場合、既設の給水装置に関係のあるメーター口径、メーター番号、配管の状況、管種、口径及び水栓番号等を調査・確認したか。	はい・いいえ	改造 有・無
撤去工事のある場合、他への分岐管の有無を調査し、分岐管がある場合は、その対策を協議し、維持管理責任を明確にしたか。	はい・いいえ	撤去 有・無	
準拠図書	本町が公開している「給水装置工事施行基準・解説書」の内容に準拠して設計したか。或は、設計されていることを確認したか。	はい・いいえ	
事前協議	主任技術者・協議者の責任において事前協議に必要な書類（「配置図」「平面図」「系統図」「平面詳細図」「給水器具表」「機器表」及び「水理計算書」等）の必要書類を準備・作成し、不備がないことを確認したか	はい・いいえ 該当なし	
	貯水槽給水から直結給水への改造申請の場合は、「改造箇所」「管種・口径」「撤去・新設」区分等を明確にした既設及び改造後の「平面図」「系統図」及び「水理計算書」等の必要書類を準備・作成し、不備がないことを確認したか	はい・いいえ 該当なし	
	「平面図」「立面図」「系統図」「配管系統図」等に管種・口径等が明記され、各図面の配管経路や管種・口径等の明記に相違点がないかを確認したか	はい・いいえ 該当なし	
	直結給水における給水引込管口径は、配水管口径より2口径以上小さい口径にて設計されていることを確認したか	はい・いいえ 該当なし	
	配水管への逆流防止措置としての器具が適正な位置に設計・設置されていることを確認したか（第一止水栓二次側の逆止弁（又は減圧式逆流防止器）、各階給水立管分岐部二次側の逆止弁、立管頂部の吸排気弁）	はい・いいえ 該当なし	
	配水管への逆流防止措置としての配管形状が適正に設計されていることを確認したか（給水立管からの各階分岐高さ（溢れ面+300）、及び立管の形状（同一口径）他）	はい・いいえ 該当なし	
	直結給水にて空調用加湿器に接続している場合、加湿器は、逆流防止性能において認証登録済か、また、補給水管の水抜きが適正に設計されていることを確認したか	はい・いいえ 該当なし	
	「給水器具表」において、大便器や汚物流しの給水栓がフラッシュバルブにて設計されている場合、その接続口径はφ25、かつ、バキュームブレイカーを設置するよう設計されていることを確認したか	はい・いいえ 該当なし	有・無
	直結給水における計画瞬時最大水量は、使用形態等を考慮し実態に応じた適正な水量が基準書を基に算定なされていることを、主任技術者・協議者の責任において水理計算書にて確認したか	はい・いいえ 該当なし	水理計算公式 □BL（バタリング）算式 □器具給水負荷単位
	主任技術者・協議者の責任において水理計算書の「区間流量」「管内流速」「動水勾配」「器具抵抗値」等が適正な値となっているかを確認したか	はい・いいえ 該当なし	管内流速 ≤ 2.0 m/sec
	貯水槽給水における一日当たり使用水量及び月間使用水量は、「給水装置工事施行基準・解説書」のメーターの使用流量基準（参考値）に記載の数値以下の、適正な値となっているかを確認したか	はい・いいえ 該当なし	
	貯水槽給水における一日当たり使用水量は、使用形態等を考慮し実態に応じた適正な水量が算定され、適正な引込口径と、当該地区の水圧とその水量に応じた口径の定水位弁が選定されていることを確認したか	はい・いいえ 該当なし	設計水圧と 定水位弁流量線図 より弁口径を選定
	循環式給湯システム、フラッシュバルブ又はI型浄水器等の特殊器具が設計されているかを確認したか ( )	はい・いいえ 該当なし	有・無
<p>以上のとおり給水装置工事に係る事前調査を行い、事前協議に臨むに必要な書類及び設計内容等に関して令和 年 月 日に確認したことを報告します。                  なお、協議内容等に相違又は不適切な事項等があった場合は、責任を持って対処いたします。                  [協議者※は、本書(様式-1)、設計図書及び水理計算書等の写しを指定給水装置工事事業者に渡し、事前協議内容等の引継ぎをします。]</p> <p>給水装置工事主任技術者・協議者※ 氏名</p>			

※) 事前協議者が指定給水装置工事事業者以外の場合は、事前協議者の社名及び部署を、また、下部の給水装置工事主任技術者欄には、事前協議の席において設計内容等に関し責任を持って説明できる者の氏名を記入してください。  
 なお、署名による記入のみ押印は不要です。ゴム印や印字等の記名の際は押印が必要となります。  
 ※) 事前協議の内容に変更が生じた場合は、再協議してください。

既設給水設備調査報告書

令和 年 月 日

蟹江町水道事業  
蟹江町長 殿

指定工事事業者  
住 所  
名 称 及 び  
代 表 者 氏 名  
主 任 技 術 者 氏 名\*

※本人の署名または記名押印をして下さい。

下記のとおり、受水槽以降の既設給水設備の調査内容を報告します。

記

- 1 設置場所 蟹江町
- 2 建物名称 \_\_\_\_\_
- 3 使用材料の確認（該当項目□にチェックを入れてください。）

区 分		調 査 確 認 事 項 ・ 改 造 項 目
一般事項	構造及び材質の基準	水道法施行令第6条の基準： <input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合
	既設配管材料	別紙、添付書類・図面のとおりです。 <input type="checkbox"/> 設計図 <input type="checkbox"/> 施工図 <input type="checkbox"/> 給水申請図面 <input type="checkbox"/> その他( )
	管更生工事の経歴	経歴： <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り ライニング塗料・工法等の施工状況の確定： <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
	漏水の有無	水圧0.75 MPa、5分間加圧後の漏水： <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
	水質試験	別紙、添付書類のとおりです。 証明書： <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
配管他	配管及び逆止弁他	給水立管よりの分岐管高さ： <input type="checkbox"/> SL+1.3m以上 <input type="checkbox"/> SL+1.3m未満
		給水立管の状況： <input type="checkbox"/> 同一口径 <input type="checkbox"/> 竹の子状
		給水引込部の逆止弁(リフ式)： <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
		各住戸のメーター2次側の逆止弁(リフ式)： <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
		給水立管最上部の水道用吸排気弁： <input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
		給水引込管は、配水管口径より2口径以上小： <input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合 特殊器具設置の場合の制約事項： <input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合 <input type="checkbox"/> 該当なし
対処	改 造 項 目	<input type="checkbox"/> 給水引込部に逆止弁(リフ式)を設置します。
		<input type="checkbox"/> 各住戸のメーター2次側には逆止弁(リフ式)を設置します。
		<input type="checkbox"/> 給水立管最上部に吸排気弁を設置します。
		<input type="checkbox"/> 配水管を増径します。(口径φ mm →口径φ mm)
		<input type="checkbox"/> 特殊器具設置の制約事項に対処します。

【添付書類】

- (1) 既設給水管及び給水用具の図面（使用材料の管種、口径や設置年度等を明記したもの）
- (2) 水圧試験実施中の写真
- (3) 水道法第20条第3項に規定する者による水質試験成績証明書
- (4) 直結直圧給水切替に関する確認書（第4号様式）

※) 署名による記入のみ押印は不要です。ゴム印や印字等の記名の際は押印が必要となります。

既存給水設備の把握チェックリスト

		調査内容（該当項目□にチェックを入れてください。）
建物 使用 状況	建物名称	
	施工年月日	□昭和 □平成 □令和 年 月 日
	建物階層・戸数	階建 ・ 戸
	建物用途区分	□一戸建て専用住宅 □一戸建て小規模事務所付き住宅等 □集合住宅 □集合住宅と小規模事務所付き住宅等の併用ビル □その他、町長が認めたもの
	給水方式及び容量	□ポンプ加压送水 □压力水槽 □高架水槽 受水槽（ m <sup>3</sup> ） 高架水槽（ m <sup>3</sup> ）
	使用水量	m <sup>3</sup> /月程度
貯水 槽以 下設 備状 況	配管型式	□I型 □逆U型 □H型 □その他（ ）
	管径	横主管（φ ）立管（φ ）分岐管（φ ）
	管種	横主管（ ）立管（ ）分岐管（ ）
	配管位置	□明確 □不明 □一部不明
	給水器具	□明確 □不明 □一部不明
	配管の外観	□異常あり □異常なし
	吐出水の着色	□異常あり（状況： ） □異常なし
	通水の状況	□水が出ない、水の出が悪い □異常なし
	調査機器	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ □異常あり □異常なし
給水 装置 状況	配水・給水引込管の管種/口径	配水管： /φ mm 給水管： /φ mm
	給水弁の種類/口径	給水弁：□ボールタップ □定水位弁 φ mm× ケ
	配管位置	立管図、平面図に表示（□あり □なし）
	メーター口径/吐水流量他	φ mm 1回当たりの吐水流量＝ L/回 吐水時間＝ min
	調査機器	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ □異常あり □異常なし
更正 工事	更正工事履歴の有無	□ ①なし □ ②あり □ ③不明
	①更正工事 あり （ライニング塗料、工法、施工方法明確）	〔提出資料〕 □塗料の浸出性能基準適合証明書 □更正工事施工計画書 □更正工事施工報告書 □水質試験成績証明書
	②更正工事 あり （ライニング塗料、工法、施工方法不明確）	〔提出資料〕 □浸出性能試験成績証明書
		作成日 令和 年 月 日
住 所		
指定工事事業者		
給水装置工事主任技術者*		
※ 本人の署名または記名押印して下さい。		

直結直圧給水切替に関する確認書

令和 年 月 日

蟹江町水道事業  
蟹江町長 殿

〒

申込者 住 所

氏 名\*

電 話

※本人の署名または記名押印をして下さい。

受水槽以降の既設給水設備を改造して直結直圧給水設備とするに当たり、下記の確認事項を承諾し厳守します。

記

1 設置場所 蟹江町

2 建物名称 \_\_\_\_\_

3 確認事項

直結給水の逆流防止対策

直結給水切替工事において、給水引込部には逆止弁（リフト式）、給水立管の最上部には水道用吸排気弁を設置します。

また、前述逆止弁及び吸排気弁の設置不備、管理不備等に起因して、配水管又は各住戸間における逆流事故が発生した際においても、当方の費用負担で責任をもって速やかに対処します。

給水引込管の口径対策

給水引込管の申請口径は、配水管口径より2口径以上小さい口径とします。

特殊器具の制約事項対策

特殊器具においては、制約事項を遵守し適切に対処します。

漏水等の対応

直結給水切替に起因して漏水等が発生し、蟹江町長もしくは使用者等に損害を与えた場合は、当方で責任をもって補償することを承諾します。

水圧低下の対応

既設の配管等を使用することに起因して、各水栓器具での水圧が低下し水圧・水量不足の状況が発生した場合は、当方の費用負担で、設備等の見直しを行うなど速やかに対処します。また、配水区の切替に伴う各水栓器具での水圧低下に関しても、当方の費用負担で速やかに対処します。

紛争の解決

上記事項を承諾し、また、水道使用者等に周知徹底させ、直結給水に起因する紛争等については、所有者並びに使用者間ですべてを解決します。

給水装置工事竣工届

給水装置工事施行場所	蟹江町
施主名	
指定給水装置工事事業者	
自主検査年月日	令和 年 月 日
備考	

《自主検査内容》

《共通項目》

	検査項目(主任技術者)	検査結果	備考
配管	土被りが基準以上(30cm)の深さがある	はい・いいえ	
	配管が竣工届と整合している	はい・いいえ	
	クロスコネクションがされていない	はい・いいえ	
	必要な防寒処置が適切である(防寒・防食)	はい・いいえ	
	その防護方法は( )		
	適切な接合が行われている	はい・いいえ	
	配水管の水圧に影響を及ぼすポンプに直接連結されていない	はい・いいえ	
	性能基準適合品が使用されている	はい・いいえ	
	特殊器具等のまわりの配管は適正に施工されている	はい・いいえ	
器具	給水器具・給水ユニットにおいて性能基準適合品が使用されている	はい・いいえ	
	適切な接合が行われている	はい・いいえ	
	ボックス類が設置基準に適合している	はい・いいえ	
	メーター廻りに所定の器具が適切に設置されている	はい・いいえ	
	直圧部に共用水栓が設置されている	はい・いいえ	
耐圧	所定の方法で加圧した際、漏水等がない	はい・いいえ	
メーター設置	メーターボックスの位置が適切で検針・取替等維持管理に支障がない	はい・いいえ	
	底板及び土留板は良好に設置されている	はい・いいえ	
止水栓	止水栓の設置状況が適切である	はい・いいえ	
水質	水質(残留塩素、臭気、濁り等)の確認をした	はい・いいえ	

《支管分岐・3階建て・集合住宅等(導水装置含む)》

メーター配置	メーターと各戸の給水装置の関連が竣工届と整合している	はい・いいえ	
止水栓	各戸における止水栓の設置状況が適切である	はい・いいえ	
逆流防止措置	給水立管からの各戸分岐位置の高さが適切である	はい・いいえ	
	I型の給水立管の形状は、「同一口径」となっている	はい・いいえ	
	逆止弁(リフト式)が、適正な箇所に設置されている	はい・いいえ	
	給水立管の頂部には吸排気弁が適切な口径・高さにて設置されている	はい・いいえ	
	吸排気弁からの排水管が、適正に施行されている	はい・いいえ	
	逆流防止装置等の設置状況、効果について確認する	はい・いいえ	
受水槽	受水槽の越流面等と吐水口の位置関係は基準通りである	はい・いいえ	
	2槽式受水槽への定水位弁からの注水配管は、適切である	はい・いいえ	
	オーバーフロー管・通気管の管端部に防虫網が付いている	はい・いいえ	
	満減水警報装置、波立ち防止板の設置が適切である	はい・いいえ	
	受水槽の容量等において、竣工届と整合がとれている	はい・いいえ	
	定水位弁・減圧弁等がある場合、その設置状況が適切である	はい・いいえ	

上記のとおり給水装置の竣工検査を令和 年 月 日に行い、完了したことを報告します。  
 なお、工事内容の相違又は不適合があった場合、責任を持って処理いたします。

給水装置工事主任技術者氏名※

※ 署名による記入のみ押印は不要です。ゴム印や印字等の記名の際は押印が必要となります。

## 貯水槽水道設置届

令和 年 月 日

蟹江町水道事業

蟹江町長 殿

住所：\_\_\_\_\_

届出者

氏名：\_\_\_\_\_

水 栓 番 号		メ ー タ ー 口 径		mm				
建 物	名 称				竣工 年月	令和 年 月		
	設 置 場 所	蟹江町						
	用 途 目 的	1：集合住宅、2：店舗・事務所等、3：宿泊施設、4：福祉施設、5：公共施設、6：その他( )						
所 有 者 ( 設 置 者 )	住所：	棟	号室	氏 名 (又は名称) 電 話 番 号				
貯 水 槽 管 理 者	住所：	棟	号室	氏 名 (又は名称) 電 話 番 号				
指 定 給 水 装 置 工 事 事 業 者	主任技術者：							
建 物 構 造 等	地上：	階・	階	地下：	階	延べ面積：	m <sup>2</sup>	
	戸数：	戸・	戸	棟数：	棟			
施 設 概 要								
給 水 設 備	設 置 場 所	受 水 槽		高 置 ( 高 架 ) 水 槽		その他の貯水槽( )		
	設 置 形 態	屋外 ・ 屋内 (地上 階、地下 階)		塔屋 ・ 屋階 その他 ( )		屋外 ・ 屋内 (地上： 階、地下： 階)		
	水 槽 の 数 、 容 量 (有効容量)	槽数：	槽	槽数：	槽	槽数：	槽	
	材 質	FRP(一体) ・ FRP(ハ° 祢)	SUS(一体) ・ SUS(ハ° 祢)	SS(一体) ・ SS(ハ° 祢)	その他 ( )	FRP(一体) ・ FRP(ハ° 祢)	SUS(一体) ・ SUS(ハ° 祢)	SS(一体) ・ SS(ハ° 祢)
水 槽 耐 震 強 度	2/3G ・ 1G ・ 1.5G			その他 ( G )		避難所指定	有 ・ 無	
滅 菌 設 備 の 有 無	有 ・ 無	残留塩素測定器		有 ・ 無	給 水 方 式			
給 水 管 の 材 質	HIVP ・ VLP ・ SUS ・ その他 ( )					1：加圧送水方式		
想 定 使 用 水 量	m <sup>3</sup> /月		片槽稼働対策	済 ・ 未		2：高架水槽方式		
給 水 弁 の 種 類 ・ 個 数	BT ・ FM × ㍻		給水弁の制御	FM-BT ・ FM-電極棒 ・ FM-BT(調整型)				
計 測 吐 水 水 量	L/min		管 内 流 速	m/sec		判定		
備 考								

添付書類：位置図、平面図、配管等の詳細図、設置状況の写真

※) 設置簿提出日を含む下線部及び 太枠線内を記入してください。

※) 給水管の材質においては、受水槽周りの露出配管の管材を選択してください。

※) 給水弁の制御欄において、給水弁の種類がBTの場合には、記入しないでください。

注意) 10m<sup>3</sup>以上の貯水槽については、別途建設局上下水道課へ提出する簡易専用水道に伴う設置届が必要になります。建設局上下水道課に提出後その写しを水道課に提出してください。